

治療の流れ

1. 事前のご準備

かかりつけ医、主治医等にご相談の上、事前にお電話でお問い合わせください。受診の際にはかかりつけ医の紹介状をお持ちください。

2. 入院までの流れ

受診後、ボトックス入院の適応となりましたら、入院前検査を行い、入院日の調整をします。

※入院日は木曜日、ボトックス注射は翌日金曜日の午後に実施

3. 入院後の流れ



1日目 木曜日午前入院

リハビリ担当者による問診、身体機能評価、注射筋の選定、目標設定を行います。

2日目

ボトックス注射後、集中的なリハビリを行い、筋肉内にボツリヌス毒素を拡散させます。

3日目以降

1日2回、集中的なリハビリを行います。退院前日は最終評価を行い改善点等の説明を行います。

3週間後の水曜日

主治医からの説明後、次回の外来・入院予約をおとりいただき、午前退院となります。

4. 退院後

次回からは、入院予約の1週間前に外来へお越しいただき、入院前検査を受けて下さい。

お問い合わせ・予約専用ダイヤル

TEL (078)277-1611

予約受付時間 13:00~17:00

★ 完全予約制 ★

ボトックス治療の初回受診、ご相談は上記の「予約専用ダイヤル」にお電話の上、ご予約(金曜日午前)をおとりください。

アクセス

お車をご利用の場合

中国自動車道「西宮北」インター下車、有馬街道を三田方面へ約2km、「杉ノ元」交差点を左折します。
道なりに約1.1km直進し「鹿の子台北町4丁目」の信号左折。

電車をご利用の場合

神戸電鉄「道場南口駅」から徒歩10分。送迎バスあり。



医療法人社団六心会

恒生かのご病院

〒651-1513 神戸市北区鹿の子台北町8丁目11番1号

TEL (078)277-1655 (代表)

ホームページ <http://kanoko-hp.jp>

ボトックス入院 ご案内



医療法人社団六心会

恒生かのご病院

病院の紹介

恒生かこの病院は脳卒中後の患者様が急性期病院を退院後、要介護状態にならないように、また、要介護状態でも自宅での快適な生活を長く送るためのお手伝いをする病院です。



院長 垣末 和良

脳卒中後の生活の質を低下させる大きな原因として**痙縮（けいしゅく）**があり、脳卒中の約4割の患者様に出現します。当院ではボトックス治療とそれに続くリハビリで痙縮の出現を抑え、生活の質の向上を目指します。

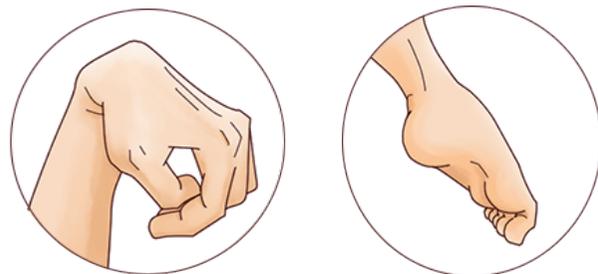
「痙縮（けいしゅく）」とは

脳卒中の後遺症でよくみられる障害の一つに「痙縮（けいしゅく）」という症状があります。

痙縮とは筋肉が緊張しすぎて、手指が開きにくい、ひじが伸びにくい、足先が足の裏側のほうに曲ってしまうなどの症状がみられます。

脳卒中の発症後、時間の経過と共に麻痺と一緒にあらわれることが多い症状です。痙縮は、日常生活に支障が生じるだけでなく、リハビリの妨げにもなってしまいます場合があります。また、痙縮の症状を長い間放っておくと、筋肉が固まり、さらに関節の運動が制限される「拘縮（こうしゅく）」という症状につながることもあります。ボトックス治療は痙縮に対する治療方法の一つです。

ボトックス入院とは



痙縮を起こし、固く緊張した筋肉にボツリヌス毒素という薬剤を注射し、筋肉の緊張を和らげます。このように麻痺した手足の緊張が軽減することにより、着衣が容易になったり、歩行が改善します。そして、ボツリヌス治療で得られる効果を増強し、長期間持続させるために集中的なリハビリを行います。このため、当院では入院ボトックス治療を推奨しています。ボトックス注射直後から集中的にリハビリを行い、筋肉内へのボトックスの吸収をより効果的に促進します。その後3週間にわたり促進回復療法や電気刺激療法などを利用した運動療法を行うことで機能回復や動作能力向上を目指します。

対象

16歳以上の脳卒中後の
上下肢痙縮（けいしゅく）患者様

費用について

ボトックス治療は、医療保険の適用となりますが、注射薬そのものが非常に高価なため、医療費が高額になります。

医療費助成制度を利用できますので、（高齢）重度障害者医療費受給者証等をお持ちの方は、自己負担金が低額となる場合がございます。

また、高額療養費制度もございますので、詳細はお問い合わせください。

院内風景



病室

4人部屋（無料）、個室、2人部屋がございます。

リハビリ室

大きな窓に囲まれた明るく、開放的なスペースには、いつも笑顔と活気があふれています。

